

令和8年度、石下中学校に赴任しました校長の鈴木康之です。学校の周囲は、筑波山、豊田城をはじめ美しい自然に囲まれ、伝統ある石下中に勤務する喜び、重責を日々実感しております。



今年度から大きく3点が変わります

①3学期制から前後期の2学期制（市内小中学校）

②週時程の変更

（週5時間授業日を毎週月曜の1回から月曜・金曜の週2回）

③部活動に関する変更（部活動数、活動時間、複数顧問制の拡充）

時代の変化に合わせた持続可能な学校、質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

生徒、教職員、保護者、地域が一体となり、あたたかい学校、地域の発展に貢献できる学校を目指し全力で取り組みます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度 前期始業式 式辞の一部を紹介します

おはようございます。

私は、生徒のみなさんと顔を合わせるのは初めてですが、石下中学校には4月1日から勤務しています。

今日は、校長として、先生方に最初に話したことを生徒のみなさんにも話します。

「学校って何ですか？」 「学校って何ですか？」 私は考えました。

簡単に言うと人が集まる場所だと思います。

288人の生徒、先生方、保護者、地域の人々、給食を運ぶ人、荷物を届ける人…など学校に関わる人はたくさんいます。

多くの人が集まる学校で私は1つ大切にしたいことがあります。何だと思いませんか？それは「言葉」です！

言葉は人と人をつなげたり、逆に遠ざける場合もあります。ぜひ、多くの人が集まる学校で、お互い頑張ることができる言葉、ほっとできる言葉を使ってください。

「ほっと ほっと 石下中」 こんな言葉を考えました。

最初の「ほっと」は 熱い気持ち（頑張るぞ！ 負けないぞ！）です。

次の「ほっと」は 居心地がいいということです。「おはよう」と石下中に来て「さよなら」と石下中を出る。自分の家のように居心地のいい石下中学校、いいと思いませんか。

ところで、この写真が誰だかわかりますか？

大谷翔平選手です。大谷選手は3月にWBCという国別で世界一を決める大会に出場しました。あるインタビューで、「大谷選手が他のメンバーと最初にすることは何ですか。」という質問がありました。大谷選手は、「年上でも年下でも敬語で話しかけること、コミュニケーションです。」とっていました。最初にあいさつを交わし、コミュニケーションを深めることが大切だと言っていました。

みなさんもこれからクラスが替わり、全員ではないかもしれませんが先生が代わり、新たなスタートです。あいさつ、言葉を大切にして「ほっとな ほっとな 石下中」をみんなでつくりあげていきましょう。